

4. 英国における遺伝子組換え農産物と食の安全性に関する消費者意識調査

矢部 光保

1. はじめに

本アンケート調査は、2001年11月下旬から12月末にかけて、ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ地球環境社会経済研究センターの協力を得て行ったものである。対象地域としては、北アイルランドを除くイングランド、ウエールズおよびスコットランドの中から、大都市、地方都市および農村という地域特性を考慮して、代表的な7地域（バーミンガム、ノッティンガム、ドーセット、アベリスティス、カーディフ、インヴァネス及びアバディーン）を選んだ。そして、そこから人口分布等を考慮して2,000世帯を電話番号によって無作為抽出し、郵送法による調査を実施した。アンケートは、調査票を発送した後、督促状、さらに再度、調査票を郵送した。

宛先不明等を除いた有効発送数は1,810で、回収数は650、有効回収率は35.9%であった。以下は、全て無記入あるいは大部分が無記入であったアンケートを除いた582サンプルの集計結果である。

なお、本アンケートでは、遺伝子組換え飼料の問題および動物愛護の観点からも分析するために鶏卵に注目した。なぜなら、英国における鶏卵は、我が国のそれよりもはるかに種類が豊富で、パッケージに記された商品情報も多い。また、身近な食べ物であって規格化が進んでおり、イギリス全体でも地域による価格差が比較的小さく、小売価格の季節変動も小さいからである。

2. 日常の消費行動

ここでは、日常の消費行動に関する消費者アンケートの集計結果を述べる。なお、集計表は、後にまとめて示してある。

「Q1 食品の特性のうち、あなたにとって1番目と2番目に重要なものを次の中から選んでください」という質問に対して、一番目に重要な特質として選ばれたのは「美味しさ」であり、45.5%の人がこれを選び、次いで「安全性」(26.6%)、「栄養」(14.9%)であった。また、二番目に重要な特質は、「栄養」(34.2%)、次いで「価格」(22.5%)、「美味しさ」(21.0%)の順であった。

「Q2 スーパーや食料品店で食べ物に一週間でいくら使いますか」という質問に対しては、「30~44ポンド」(約5,500円~8,100円)が最も多くて21.4%、次いで「45~59ポンド」(20.6%)、「60~74ポンド」(16.2%)の順となっている。

「Q4 鶏卵を食べることはあなたの健康にどのような影響があるとお考えですか」という質問に対しては、「普通」(48.8%)、「良い」(26.8%)及び「とても良い」(12.4%)というように積極的評価が多く、「悪い」と「とても悪い」を合わせた10.1%を大きく上回っている。

「Q5 どの店またはスーパーで買い物をしますか。一つだけ選んでください」という質問に対しては、イギリスの4大スーパーである「Tesco」「Asda」「Sainsbury」及び「Morrisons」を選んだ人は合わせて57.0%である。この割合は4大スーパーの市場占有率63.1%(2000年12月)~69.4%(2002年7月)に対して、若干少なくなっているが、ほぼ市場を反映していると言ってよいであろう^(注1)。

「Q6 何個入りのパックで卵を買いますか」という質問に対しては、「6個入り」が一番多くて55.3%、次いで「12個入り」(20.4%)、10個(6.2%)の順になっている。

「Q7 どのサイズの卵を買いますか」という質問に対しては、「Lサイズ」が一番多くて48.8%、次いで「Mサイズ」(38.1%)であり、両者合わせて86.9%を占めている。

「Q9 平均して1パックいくらのお卵を買いますか」という質問に対しては、「90~109ペンス」(約166~200円)が最も多くて18.9%、次いで「70~89ペンス」(18.4%)、「110~129ペンス」(13.2%)となっている。6個入りパックでMまたはLサイズであるならば、大手スーパーの場合、この価格帯の卵は、有機飼料を与えられた鶏の卵ではないが、放し飼いで飼育された鶏の卵や非遺伝子組換え飼料による卵である。日本のスーパーで販売されている卵に比較して、若干高めの間隔を感じるが、その理由としては、日本の卵はケージ飼いが大半であり、特別な卵を除いては非遺伝子組換えと明記されていないためであろう。

「Q10 あなたのお宅では1週間におよそ何個の卵を使いますか」という質問に対しては、「5~9個」が最も多くて42.6%、次いで「1~4個」の24.4%、「10~14個」の23.2%となっている。

3. 購入する卵の商品属性と遺伝子組換えに対する意識

「Q8 以下のような卵はどのくらいの頻度で買いますか」という卵の属性に関する質問に対しては、次のような結果が得られた。

まず、広い戸外の草地などで放し飼いにされた鶏の卵の購買頻度については、「半々で買う」(10.0%)、「よく買う」(4.3%)、「いつも買う」(39.7%)であり、「よく買う」と「いつも買う」を合わせると44%の人が日常的に放し飼いの卵を買っていることになる。他方、小売市場で販売される卵のうち、放し飼いの卵は約15%であるから、このアンケートの回答者は、かなり動物愛護や環境保全、食の安全性に関心の高い消費者であることが分かる。

第2に、戸外ではないが、鶏が自由に運動できるスペースを確保した納屋飼いの卵の購買頻度については、「半々で買う」(11.0%)、「よく買う」(6.5%)、「いつも買う」(14.1%)であり、「よく買う」と「いつも買う」を合わせると20.6%の人が日常的に納屋飼いの卵を

買っていることになる。他方、小売市場で販売される卵のうち、納屋飼いの卵は約5%であるから、納屋飼い卵の購入割合も市場流通している卵の割合に比較して高いと言えよう。

第3に、有機栽培の飼料を与えられた鶏の卵の購買頻度については、「半々で買う」(8.9%)、「よく買う」(3.6%)、「いつも買う」(14.8%)であり、「よく買う」と「いつも買う」を合わせると18.4%の人が日常的に有機の卵を買っていることになる。

第4に、非遺伝子組換えの飼料を与えられた鶏の卵の購買頻度については、「半々で買う」(7.0%)、「よく買う」(3.4%)、「いつも買う」(8.9%)であり、「よく買う」と「いつも買う」を合わせると12.3%の人が日常的に非遺伝子組換えの卵を買っていることになる。他方、「買わない」(15.1%)と「あまり買わない」(9.3%)を合わせると24.4%の人が遺伝子組換え飼料による卵を買っていることになる。なお、「わからない」(14.8%)と「無記入」(41.4%)を合わせた56.2%の人は、自分の購入している卵が遺伝子組換えの飼料を使用しているかどうかについて明確な認識をもっていないことが分かる。

第5に、品質や鶏の飼い方などの情報が適切に表示された卵の購買頻度については、「半々で買う」(11.3%)、「よく買う」(5.5%)、「いつも買う」(16.7%)であり、「よく買う」と「いつも買う」を合わせると22.2%の人が日常的に商品情報のしっかりした卵を買っていることになる。

ここで、一般の人の場合、非遺伝子組換え飼料による卵に対する日常的な意識について考えてみよう。統計上、有機栽培の飼料は有機栽培の基準から言って非遺伝子組換えの飼料でなければならず、他方、非遺伝子組換えの飼料は農薬や化学肥料を使って生産されたものを含むから、非遺伝子組換えの卵は有機の卵より生産量は多くなるはずである。しかし、アンケート結果は、有機の卵を買っている人の割合が非遺伝子組換えの卵を買っている人のそれよりも多くなっている。さらに、イギリスの場合、少なくとも、主要なスーパーで販売されている卵については、その卵が非遺伝子組換え飼料で生産されたものならば、そのことがパッケージに表示されてある。また、アンケートの回答者は、放し飼いの卵を購入している割合が高いことから、一般の消費者よりも環境に対する関心がより高い人が多いことが窺われる。そうであるにもかかわらず、このような結果であるから、一般の消費者は、自分の購入している卵が遺伝子組換えの飼料を使用しているかどうかについて、必ずしも明確な認識をもっていないように思われる。

4. 社会経済的屬性

「Q26 性別」の質問では、回答者の58.6%が女性、39.2%が男性であり、女性の回答者の方が多かった。

「Q27 年齢」の質問では、「35～44歳」が最も多くて22.2%、次いで「55～64歳」(20.3%)、「45～54歳」(16.3%)、「65～74歳」(15.3%)と、中高年齢の回答者が多かった。

「Q 2 8 あなたを含めた同居家族は何人ですか」という質問に対しては、「2人」が最も多くて38.8%、次いで「1人」(20.3%)、「4人」(15.3%)、「3人」(14.3%)の順になっている。

「Q 2 9 16歳未満の同居家族は何人ですか」という質問に対しては、「0人」が最も多くて69.4%であった。次いで、「1人」(12.2%)、「2人」(12.7%)であり、年齢を考慮すると、総じて回答者は、子供を育て上げた世代が多いようである。

「Q 3 2 あなたの最終教育課程についてお答えください」という質問に対して、最も多かったのは「専門資格」の28.2%であり、次いで「中等教育」(29.2%)、「大学」(20.4%)の順であった。

「Q 3 3 お宅の所得(税込み)は、家族全体でいくらくですか」という質問に対して、最も多かったのは、月収で「1,000~1,499ポンド」(年収で約220~330万円)の14.1%、次いで「500~999ポンド」(12.0%)、「1,500~1,999ポンド」(11.9%)であるから、回答者の所得水準は高い方であるとは言えないだろう。他方、高所得者であれば、非遺伝子組換え食品を購入したくないとき、そうできる経済的条件にあるから、遺伝子組換え食品の選択は、そのような選択が限られている低所得者により負担を与える問題である。その意味で、低所得者が比較的多かった今回のサンプリングは、非遺伝子組換えに食品の選択について、より厳しい選択を迫られる人たちの意見をより多く含んでいるといえよう。

5. 環境や食の安全性、価格に関する意識

環境や食の安全性、価格に関する意識についての設問は、今回のアンケートにおいてテーマごとに提示していないところもあった。そこで、以下ではテーマごとに分類して、関心の高さを示すように再集計した。

第1表は、環境保全への関心を示す。このテーマに関して、環境保全に対して強い憂慮を示す回答者は、4または5を合わせると過半数を越えている。

第1表 環境保全への関心

		大変低い					無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q25a	地球は限られた空間と資源をもつ宇宙船のようなものだ	35 (6.0)	46 (7.9)	146 (25.1)	121 (20.8)	204 (35.1)	30 (5.2)	582 (100.0)
q25b	自然のバランスは大変微妙で壊れやすい	14 (2.4)	41 (7.0)	94 (16.2)	155 (26.6)	245 (42.1)	33 (5.7)	582 (100.0)
q25c	人類が直面している、いわゆる「生態の危機」は誇張され過ぎてきた	32 (5.5)	82 (14.1)	155 (26.6)	137 (23.5)	145 (24.9)	31 (5.3)	582 (100.0)
q25d	人間の消費に供される動物の福祉は、それなりによいと思う	40 (6.9)	47 (8.1)	124 (21.3)	170 (29.2)	173 (29.7)	28 (4.8)	582 (100.0)
q25w	人間は環境をひどく乱用している	29 (5.0)	36 (6.2)	89 (15.3)	158 (27.1)	240 (41.2)	30 (5.2)	582 (100.0)
q25x	人間が自然に干渉すると、しばしば悲惨な結果をもたらす	24 (4.1)	41 (7.0)	119 (20.4)	144 (24.7)	230 (39.5)	24 (4.1)	582 (100.0)

注. q25 ではそれぞれの設問に対し、回答は同意・不同意の程度で5段階に評価されている。ここでは、その回答を環境保全への関心の高さを示すように変換した。例えば、q25a, q25b, q25w及びq25xでは、「全く同意する:1」ならば「大変高い:5」とし、「全く同意しない:5」ならば「大変低い:1」とした。逆にq25cとq25dで「全く同意する:1」ならば「大変低い:1」とし、「全く同意しない:5」ならば「大変高い:5」とした。

2表は、健康への関心を示す。日常的に、浄水器を使ったり、ミネラル・ウォーターや有機食品、健康補助食品（サプリ）を購入したりしている（回答が4または5の）回答者の割合は、全体の20%程度である。他方、ファースト・フードやレトルト食品を日常的に利用している人は13.7%である。

第2表 健康への関心

		大変低い					無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q31b	浄水器を使ったり、ミネラル・ウォーターを買ったりしている	220 (37.8)	64 (11.0)	121 (20.8)	51 (8.8)	108 (18.6)	18 (3.1)	582 (100.0)
q31c	有機食品を買っている	111 (19.1)	98 (16.8)	230 (39.5)	95 (16.3)	25 (4.3)	23 (4.0)	582 (100.0)
q31d	ファースト・フードやレトルト食品を食べている	10 (1.7)	70 (12.0)	230 (39.5)	162 (27.8)	95 (16.3)	15 (2.6)	582 (100.0)
q31e	栄養補助食品（サプリ）を使用している	247 (42.4)	83 (14.3)	120 (20.6)	42 (7.2)	68 (11.7)	22 (3.8)	582 (100.0)

注. q31はそれぞれの設問に対し、回答は行動頻度を5段階で評価している。行動頻度の高さと健康への関心の高さについて、q31a, q31b及びq31eで「いつもそうしている：5」は健康への関心が「大変高い：5」に変換して5段階で示した。他方、q31dの場合は逆の順序で再集計した。

第3表は、食の安全性への関心を示す。約半数前後の人が、4または5と答えて、食の安全性に関する不安を示している。また、食品を買うにあたっては、40～50%の回答者が、日常的に表示を確認してから買っている。さらに、50%以上の人が、政府は食品の安全性確保のために、もっとお金を使うべきだと考えている。

第3表 食の安全性への関心

		大変低い					無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q25e	今日の食品添加物で私の健康は害されることはないと思う	30 (5.2)	48 (8.2)	111 (19.1)	157 (27.0)	218 (37.5)	18 (3.1)	582 (100.0)
q25f	レストランなど飲食店は食べ物を扱うときそれほど気をつけていない	51 (8.8)	76 (13.1)	162 (27.8)	125 (21.5)	128 (22.0)	40 (6.9)	582 (100.0)
q25g	今の世界にあるリスクを考えると、食の安全性のリスクは余り重要でない	37 (6.4)	73 (12.5)	122 (21.0)	129 (22.2)	193 (33.2)	28 (4.8)	582 (100.0)
q25i	政府は食品の安全性確保のためにもっとお金をかけるべきだ	49 (8.4)	70 (12.0)	125 (21.5)	133 (22.9)	180 (30.9)	25 (4.3)	582 (100.0)
q31f	栄養分や原材料の情報について食品ラベル表示を見る	35 (6.0)	43 (7.4)	176 (30.2)	168 (28.9)	138 (23.7)	22 (3.8)	582 (100.0)
q31g	食品の包装にある食品安全に関するラベルを見る	47 (8.1)	84 (14.4)	189 (32.5)	121 (20.8)	118 (20.3)	23 (4.0)	582 (100.0)

注. q25ではそれぞれの設問に対し、回答は同意・不同意の程度で5段階に評価されている。ここでは、その回答を食の安全性への関心の高さを示すように変換して示した。例えば、q25fとq25iでは、「全く同意する：1」ならば「大変高い：5」、「全く同意しない：5」ならば「大変低い：1」とし、q25eとq25gでは逆の順序で再集計した。他方、q31fとq31gの回答は5段階の行動頻度で評価され、行動頻度の食の安全性への関心の高さとについて、「いつもそうしている：5」は関心が「大変高い：5」に変換して5段階で示した。

第4表は、価格への関心を示す。約30～40%の回答者は、日常的に買い物リストを作ったり特売品を買ったりして、価格への関心の高い行動をとっている。

第4表 価格への関心

		大変低い			大変高い		無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q31a	店に行くときは詳しい買い物リストを作る	99 (17.0)	56 (9.6)	166 (28.5)	79 (13.6)	168 (28.9)	14 (2.4)	582 (100.0)
q31h	食物を買うときには、クーポンや特売品をよく利用する	71 (12.2)	83 (14.3)	228 (39.2)	107 (18.4)	77 (13.2)	16 (2.7)	582 (100.0)
q31i	特売のときに食物を買いだめしておく	61 (10.5)	71 (12.2)	223 (38.3)	112 (19.2)	97 (16.7)	18 (3.1)	582 (100.0)
q31j	買い物をするときには、お買い得品を探して何店かまわる	294 (50.5)	89 (15.3)	117 (20.1)	35 (6.0)	32 (5.5)	15 (2.6)	582 (100.0)

注. q31はそれぞれの設問に対し、回答は行動頻度を5段階で評価している。行動頻度の高さと価格への関心の高さについて、「いつもそうしている：5」は価格への関心が「大変高い：5」等に変換して5段階で示した。

第5表は環境倫理に対する意識を示す。約半数の回答者が、より積極的に（つまり4または5の回答として）、人間は環境を改変する権利を持っていない、GM食品に利点があっても自然に反していると言っているが、約20%の回答者はそうは思っていない。他方、GM技術の医療目的の利用については、肯定派は39.1%であり、反対派は27%であるから、医療目的のGM技術を許容している回答者の割合は、食品に対するGM技術の場合に比較して高い。

第5表 環境倫理への意識

		大変低い			大変高い		無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q25j	人間は必要があれば自然環境を改変する権利を持っている	46 (7.9)	58 (10.0)	141 (24.2)	113 (19.4)	196 (33.7)	28 (4.8)	582 (100.0)
q25k	大多数の人がGM食品を受け入れるならば、許可されるべきである	38 (6.5)	81 (13.9)	137 (23.5)	98 (16.8)	203 (34.9)	25 (4.3)	582 (100.0)
q25l	GM食品に利点があったとしても、もとより自然に反している	54 (9.3)	79 (13.6)	119 (20.4)	111 (19.1)	181 (31.1)	38 (6.5)	582 (100.0)
q25m	GM技術は医療目的であっても使用されるべきではない	105 (18.0)	123 (21.1)	163 (28.0)	72 (12.4)	85 (14.6)	34 (5.8)	582 (100.0)

注. q25はそれぞれの設問に対し、回答は5段階の同意の程度で評価されている。同意度の高さと環境倫理の意識の高さについて、q25lとq25mでは、「全く同意する：1」は倫理意識が「大変高い：5」に変換して5段階で示した。他方、q25jとq25kでは、逆の順序で再集計した。

第6表は食品に対するリスクと政府・企業等に対する信頼を示す。40%前後の人たちは、食品リスクに対し不安を感じ、GMに係わる政府・企業に対し不信の念を抱いている。

第7表はGM食品に対する受容を示す。GM食品について、美味しかったり、栄養価が高かったり、世界の食料問題の改善に寄与したりした場合、30~40%の回答者は肯定的反応を示し、40~50%の回答者は否定的反応を示した。したがって、消費者にとってGM食品に何らかの利点がある場合には、受容の可能性があることが窺われる。

以上から、GM技術については、強い反対意見が存在するものの、消費者にとって明確なメリットがあるならば、GM技術を受容する者も少なからず存在するといえよう。

第6表 リスクと信頼

		大変安心			大変不安		無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q25n	食品ラベルにある食品安全性や栄養価の情報は信頼できる	20 (3.4)	66 (11.3)	203 (34.9)	158 (27.1)	108 (18.6)	27 (4.6)	582 (100.0)
q25o	一般の人々がGM食品の摂取を避けたいと思うなら、そうすることができる	115 (19.8)	83 (14.3)	119 (20.4)	117 (20.1)	118 (20.3)	30 (5.2)	582 (100.0)
q25p	GM食品に含まれるリスクが何であれ、私たちが本気で避けようとするれば避けられる	91 (15.6)	85 (14.6)	137 (23.5)	117 (20.1)	128 (22.0)	24 (4.1)	582 (100.0)
q25q	もしGM食品について間違いが起これば、地球規模の惨事となるだろう	44 (7.6)	87 (14.9)	153 (26.3)	116 (19.9)	150 (25.8)	32 (5.5)	582 (100.0)
q25r	GM食品による悪い影響がたとえ現れたとしても、遠い将来のことだ	134 (23.0)	142 (24.4)	147 (25.3)	84 (14.4)	48 (8.2)	27 (4.6)	582 (100.0)
q25s	政府は、医療、農業及び食品工業における適切なGM利用について注意深く監視している	32 (5.5)	50 (8.6)	161 (27.7)	154 (26.5)	156 (26.8)	29 (5.0)	582 (100.0)
q25t	科学者はGM技術の使用について責任ある対応をとっている	84 (14.4)	100 (17.2)	170 (29.2)	102 (17.5)	89 (15.3)	37 (6.4)	582 (100.0)
q25u	GM作物の生産者は、人間の健康と環境に対する潜在的危険性について配慮している	42 (7.2)	75 (12.9)	176 (30.2)	115 (19.8)	144 (24.7)	30 (5.2)	582 (100.0)

注. q25 はそれぞれの設問に対し、回答は同意の程度を5段階で評価している。同意度の高さとリスクと政府・企業等に対する信頼について、q25qで「全く同意する：1」ならばリスクと信頼性は「大変不安：5」に変換して5段階で示した。他方、残りの設問については、逆の順序で再集計した。

第7表 GM食品に対する受容

		全く否定的			全く肯定的		無記入	合計
		1	2	3	4	5		
q3a	非GM食品より安ければ、GM食品を買ってもよい	252 (43.3)	72 (12.4)	121 (20.8)	47 (8.1)	77 (13.2)	13 (2.2)	582 (100.0)
q3b	通常の食品と同じ値段で、ビタミンが多く栄養価が高いならば買ってもよい	207 (35.6)	69 (11.9)	91 (15.6)	82 (14.1)	113 (19.4)	20 (3.4)	582 (100.0)
q3c	通常の食品と同じ値段で、低化学肥料・低農薬で生産されたならば買ってもよい	173 (29.7)	63 (10.8)	93 (16.0)	104 (17.9)	126 (21.6)	23 (4.0)	582 (100.0)
q3d	通常の食品と同じ値段で、より美味しければ買ってもよい	214 (36.8)	56 (9.6)	79 (13.6)	91 (15.6)	122 (21.0)	20 (3.4)	582 (100.0)
q25h	GM技術を食料生産に使用するならば、世界の食料問題の解決に役立つ	173 (29.7)	103 (17.7)	161 (27.7)	69 (11.9)	47 (8.1)	29 (5.0)	582 (100.0)

注. q3 はそれぞれの設問に対し、購買意欲の程度が5段階で評価されている。購買意欲の高さとGM食品に対する考え方について、「大いに買う気がある：5」はGM食品に対して「全く肯定的：5」に変換して5段階で示した。q25hでは、「全く同意する：1」ならば「全く肯定的：5」に変換した。

6. おわりに

本アンケート調査では比較的環境への配慮や動物愛護の意識の高い回答者が多かったが、この集計結果から興味深い事実がいくつか明らかになった。まず、40%前後の回答者は、GM技術や食品の安全性について政府や企業に対して不信の念を抱いており、信頼している回答者よりもその割合が多かった。また、自分が購入している卵の飼料について、遺伝子組換えか否かについて明確な認識をもった消費者はそれほど多くないようである。この他、GM技術に批判的な回答者は過半数を占めている反面、30~40%程度の回答者は、消費者にとって利益のあるGM食品であれば購入してもよいとした点は興味深い。これまでのGM技術は生産者のためであったが、もし消費者にとって真に利益のあるGM商品が開発されれば、GM技術の社会的受容は大きく変化する可能性があるだろう。なお、現在、本アンケートのデータを用いた詳細な計量的分析を進めており、近くその結果を公表する

予定である。

〔付記〕

本調査のイギリス滞在に要する費用については、OECD 農業局の共同研究プログラムから援助を頂きました。記して謝意を表します。

注 (1) 市場占有率のデータはインターネットから入手した。

2000年12月のデータは <http://news.bbc.co.uk/1/hi/business/1081154.stm> に、

2002年7月のデータは <http://www.Thisismoney.com/2002704/nm50370.html> による。

遺伝子組み換え食品に関するアンケートの集計結果

Q1 食品の特性のうち、あなたにとって1番目と2番目に重要なものを次の中から選んでください。

	美味しさ	価格	栄養	安全性	無記入	総計
第1に重要 (%)	265 (45.5)	49 (8.4)	87 (14.9)	155 (26.6)	26 (4.5)	582 (100.0)
第2に重要 (%)	122 (21.0)	131 (22.5)	199 (34.2)	78 (13.4)	52 (8.9)	582 (100.0)

Q2 スーパーや食料品店で食べ物に一週間でいくら使いますか。

£	1-14	15-29	30-44	45-59	60-74	75-89	90-149	150-199	200-249	250+	無記入	総計
人	8	49	124	120	94	74	83	13	2	4	11	582
(%)	(1.5)	(8.5)	(21.4)	(20.6)	(16.2)	(12.7)	(14.3)	(2.2)	(0.3)	(0.7)	(1.9)	(100.0)

Q4 鶏卵を食べることはあなたの健康にどのような影響があるとお考えですか。
「とても悪い」ならば1,「とても良い」ならば5として, 1から5で評価してください。

	とても悪い	悪い	普通	良い	とても良い	無記入	総計
人	10	49	284	156	72	11	582
(%)	(1.7)	(8.4)	(48.8)	(26.8)	(12.4)	(1.9)	(100.0)

Q5 どの店またはスーパーで買い物をしますか。一つだけ選んでください。

店名	Tesco	セインズベリー	セーフウェイ	ウェイトローズ	コープ	マークス&スペンサー	アズダ	アイスランド	サマフィルド	その他	無記入	総計
人	128	45	71	17	19	9	88	8	22	165	10	582
(%)	(22.0)	(7.7)	(12.2)	(2.9)	(3.3)	(1.5)	(15.1)	(1.4)	(3.8)	(28.4)	(1.7)	(100.0)

Q6 何個入りのパックで卵を買いますか。

1パックの卵の個数	6個	10個	12個	15個	18個	その他	無記入	総計
人	322	36	119	35	21	26	23	582
(%)	(55.3)	(6.2)	(20.4)	(6.0)	(3.6)	(4.5)	(4.0)	(100.0)

Q7 どのサイズの卵を買いますか。

サイズ	SまたはMIX	M	L	VL	無記入	総計
人	16	222	284	32	28	582
(%)	(2.7)	(38.1)	(48.8)	(5.5)	(4.8)	(100.0)

Q 8 以下のような卵はどのくらいの頻度で買いますか。

特 性	買わない	あまり 買わない	半々	よく買う	いつも 買う	わからない	無記入	総計
放し飼い卵	36 (6.2)	71 (12.2)	58 (10.0)	25 (4.3)	231 (39.7)	28 (4.8)	133 (22.9)	582 (100.0)
納屋飼い卵	74 (12.7)	80 (13.7)	64 (11.0)	38 (6.5)	82 (14.1)	32 (5.5)	212 (36.4)	582 (100.0)
有機飼料による卵	101 (17.4)	72 (12.4)	52 (8.9)	21 (3.6)	86 (14.8)	38 (6.5)	212 (36.4)	582 (100.0)
非遺伝子組換え卵	88 (15.1)	54 (9.3)	41 (7.0)	20 (3.4)	52 (8.9)	86 (14.8)	241 (41.4)	582 (100.0)
品質や鶏の飼い方の情報が適切に表示された卵	83 (14.3)	62 (10.7)	66 (11.3)	32 (5.5)	97 (16.7)	67 (11.5)	175 (30.1)	582 (100.0)

Q 9 平均して1パックいくらの卵を買いますか。

1パック当りの値段	人	(%)
£0.30-0.49	25	(4.3)
0.50-0.69	67	(11.5)
0.70-0.89	107	(18.4)
0.90-1.09	110	(18.9)
1.10-1.29	77	(13.2)
1.30-1.49	49	(8.4)
1.50-1.69	36	(6.2)
1.70-1.89	13	(2.2)
1.90-2.09	16	(2.7)
2.10-2.29	9	(1.5)
2.30-2.59	6	(1.0)
2.60+	0	(0.0)
無記入	67	(11.5)
総計	582	(100.0)

Q 10 あなたのお宅では1週間におよそ何個の卵を使いますか。

使う個数	人	(%)
0個	19	(3.3)
1 - 4個	148	(24.4)
5 - 9個	248	(42.6)
10 - 14個	135	(23.2)
15 - 19個	23	(4.0)
20 - 24個	9	(1.5)
25 - 50個	6	(1.0)
総計	582	(100.0)

Q 2 6 性別

性別	男性	女性	無記入	総計
人	228	341	13	582
(%)	(39.2)	(58.6)	(2.2)	(100.0)

Q 2 7 年齢

年齢	18-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-94	95+	無記入	総計
人	24	49	129	95	118	89	54	12	3	9	582
(%)	(4.1)	(8.4)	(22.2)	(16.3)	(20.3)	(15.3)	(9.3)	(2.1)	(0.5)	(1.5)	(100.0)

Q 2 8 あなたを含めた同居家族は何人ですか。

家族数	1	2	3	4	5	6	7	8	無記入	総計
人	118	226	83	89	28	20	3	4	11	582
(%)	(20.3)	(38.8)	(14.3)	(15.3)	(4.8)	(3.4)	(0.5)	(0.7)	(1.9)	(100.0)

Q 2 9 16歳未満の同居家族は何人ですか。

子供数	0	1	2	3	4	5	6	7	無記入	総計
人	404	71	74	19	8	2	0	1	3	582
(%)	(69.4)	(12.2)	(12.7)	(3.3)	(1.4)	(0.3)	(0.0)	(0.2)	(0.5)	(100.0)

Q 3 2 あなたの最終教育課程についてお答えください。

最終教育課程	人	(%)
初等教育 (十年以内の義務教育)	15	(2.6)
中等教育 (16歳までの教育)	170	(29.2)
高等課程 (18歳までの教育)	89	(15.3)
専門資格	164	(28.2)
大学	119	(20.4)
無記入	25	(4.3)
総計	582	(100.0)

Q 3 3 お宅の所得（税込み）は、家族全体でいくらかですか。

月収	(年収)	人	(%)
£ 499 未満	(£ 5,999 未満)	51	(8.8)
500 - 999	(6,000-)	70	(12.0)
1,000 - 1,499	(12,000-)	82	(14.1)
1,500 - 1,999	(18,000-)	69	(11.9)
2,000 - 2,499	(24,000-)	51	(8.8)
2,500 - 2,999	(30,000-)	45	(7.7)
3,000 - 3,499	(36,000-)	35	(6.0)
3,500 - 3,999	(42,000-)	17	(2.9)
4,000 - 4,499	(48,000-)	19	(3.3)
4,500 - 4,999	(54,000-)	16	(2.7)
5,000 - 6,999	(60,000-)	26	(4.5)
7,000 - 8,999	(84,000-)	9	(1.5)
9,000 - 14,499	(108,000-)	15	(2.6)
15,000 以上	(180,000 以上)	14	(2.4)
無記入		63	(10.8)
総計		582	(100.0)